

びぼ

世代を越えたふれあい活動

上堺地区福祉のつどい

10月31日(土)、上堺小学校を会場に「第7回上堺地区福祉のつどい」が開かれました。

この催しは、お年寄りに楽しく生き甲斐のある生活を送ってもらおうと、上堺地区社会福祉協議会(及川有朋会長)が主催し、町社会福祉協議会が後援して行なったもので、当日は同地域のお年寄りのみなさんなど約200名が参加しました。

風もなく爽やかな秋晴れに恵まれたこの日は、午前9時から小学生と一緒のグラウンドゴルフ。初めてこの競技をする子どもたちも多く、お年寄りのみなさんは丁寧な指導をしながら楽しくコースを回りました。また、場所を体育館に移してからは、6年生による演劇や合唱、地区有志の方々による芸能発表を楽しんだほか、特別講師として招かれた屋形荒場の伊藤一男先生(町文化財審議委員長)による講演「漁村と沙村」を受講しました。高齢化が進む現代社会にあつて、このような「世代を越えたふれあい活動」は大変有意義なことです。今後もぜひ続けてもらいたいものです。



子どもたちと一緒に楽しくコースを回りました



健やかな成長を願い(屋形四社神社で)

子どもの健やかな成長と健康を祈る「七五三祝い」と「十五祝い」の儀式が、11月8日(日)に清水神社で、15日(日)に屋形四社神社で行われました。

江戸時代には、子どもの成長を祝う行事として、3歳時の帯結びや髪置(かみおき)、5歳時の袴着(はかまぎ)、7歳時の帯解(おびとき)や氏子入り、15歳時の元服(げんぷく)などの儀式がありました。今では、それらの風習はほとんど無くなってしまいましたが、その名残りとして、数え年7歳になると、親元や仲人、親類を呼んで神社に参拝、子どもの健やかな成長を祈る俗に「紐解(ひもとき)」と呼ばれる行事が行われており、今年も北清水地区と屋形地区では、数え年7歳の子どもたちと15歳の中学生がそれぞれの地区で合同に、産土(うぶすな)の神に健やかな成長を祈願しました。

健やかな成長を祈願

坂田池公園で放水訓練

横芝町消防団

11月8日(日)、町消防団(若梅喜作団長)では、ふれあい坂田池公園を会場にホースの取り扱い訓練や消防車輛による放水訓練を行いました。

この訓練は、寒さが増して、火の取り扱いが多くなるこれからの季節に備え、各団員が有事の際でも手際よく消火活動ができるように行なったもので、本部役員を含めた約200名のみなさんが、消防署職員の指導のもと規律訓練やホース取扱訓練、坂田池の水を利用した放水訓練などに真剣に取り組んでいました。

大変ご苦労さまでした。これからも、地域防災のために頑張ってください。



有事に備えて放水訓練



無事な成長と健康を(清水神社で)